

日本の読者の皆様へ

私の教科書の日本語版の読者になっていただき、ありがとうございます。私はイギリスのマン彻スター大学 (Old Trafford football ground まではんの 5 km!) で生物学専攻の学部生と大学院生に統計学を教えた経験をもとにして、本書を執筆しました。

第1版での私の意図は、統計学の論理的な基礎をできるだけ簡潔に説明することと、どの統計的検定法が使用されるべきかの選択方法を示し、それから選択した検定法を実行するための道筋を学生に一歩一歩示すことによって、統計学に対する学生の恐怖心を取り除くことにありました。したがって、変動性という統計学の中心的问题をいかに凌駕するかを学生に示すために、簡潔な序章を設けました。それ以降の章では、個々の課題を解決するために、電卓あるいはコンピュータソフトを使って実際に統計的検定を実行する具体的な手順について説明しています。また、論理的に検定法を選択するための判断フローチャートを掲示し、より良い実験を立案する方法についてのアドバイスを与えています。一貫して、私は数学用語や専門的な用語をあまり多く使用しないようにしました。

第2版では、より多くの統計検定法を紹介すると同時に、統計的検定の結果を表示する方法についてもアドバイスするように加筆しました。そのため、本書はより高学年の学生も使用でき、また現役の生物学者に対する参考書としても使用していただけるでしょう。

誰でも自分の所産が世界で活躍することを願うと思います。私の本が、野地澄晴博士と打波 守博士の翻訳により日本の読者に利用されることになることは非常にうれしいことです。本書を翻訳して下さった彼らに感謝の意を表します。彼らが非常に良い仕事をしていると確信していますが、もし間違いがあれば私自身の責任です。

Roland Ennos
マン彻スターにて
2007 年 4 月